

## 【22\_326技術系メルマガ】過去チャートを検証する意味

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

我が家の毎年の恒例行事になっているのですが、今日から週末まで

紅葉がキレイな軽井沢に家族旅行に来ています。

といっても、僕はいつものように仕事をするので(笑)仕事する場所が変わるだけっていう感じですが。

最近、軽井沢のショッピングモールにキレイなコワーキングスペースが出来たと聞いて

早速そこでこのメルマガを書いているのですが、非常に心地よいです。

場所が変わることによって、仕事のパフォーマンスが良い意味で変わる事も多い(メルマガ【261】通目参照)ので

変化を楽しみながら、明日以降もしっかりやっていきたいと思います。

さて、今日の本題ですが

Twitter等見ていると、トレードスタイルの作り方についても色々な発信があって

目移りしてしまう事もあるかもしれませんが

中でも特によく目につくのは「過去のチャートを検証しても意味はない。トレードで失敗を重ねないと上達しない」といった主旨の内容です。

これ、半分は正しいですが、重要なポイントが欠けていると言わなくてはなりません。

なぜなら、過去チャートを検証するのと、実際のトレードの結果から学ぶ事というのはそれぞれ『目的』が異なるからです。

今日はそのポイントを整理する事をテーマとします。

## 『歴史』から学ぶ

過去チャートの検証を行うというのは、一言で言えば『歴史に学ぶ』ことと言っても良いでしょう。

ということかという、過去の値動きというのは

『実際に、既に起こった事実の形跡』が示されているのであって、そこから傾向を知る事が出来れば

それをルール化し、今後のランダムな値動きに対する『自分なりの規則性(型)』を作る素材になるからです。

むしろ、過去の傾向を知らずして

どうやって「先の値動きの見通しが不確実な相場」に対して、一貫した判断基準を持ってトレードできるのか

過去検証を否定する人には、是非それを聞いてみたいといつも思っています。

▼若干喧嘩を売った(笑)ツイートはコチラ▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1594093614401196032?s=20&t=Ok7q-6c3PgXLeJEYKjXSgQ>

まあ、僕ごときが多少やんちゃな発言をしたところで

そんなにムキになって怒る人はいないと思うので、御愛嬌ということで(笑)

冗談はさておき、僕はひとつの『型』という括りの中で、過去のチャートをどれだけ検証するかと言ったら

多分、数だけでいえば確実に1,000は超えます。

といっても、そのなかには『個別の疑問点』を解消する為に過去の同じ通貨ペア、同じ期間のチャートを何回も見返したりするものも含んでいるので

それぞれのチャートの分析範囲としては重複するものも多いです。

以前メルマガでも書きましたが、同じチャートでも観察する視点を変えることによって

得られる情報は大きく変わってくるので『視座を変えて同じ場所を検証する』という行為は非常に重要です。

それを繰り返し行う事で、チャートに対する情報の視野もグッと広がりますからね。

一方で、実際に動いているチャートでトレードして見ることで得られるものも、もちろんあります(それが、フォワードテストです)。

ただそれは、あくまで自分が『決めた型に沿って一貫したトレード』を行った場合に限ります。

結局、型を作ってもそれが『トータルでプラスの結果をもたらす』ものでなければ意味がありません。

もし、型を定めて1カ月程トレードをやってみても、デモ口座の資金がプラスにならないのであれば、そのルールは修正が必要です。

そこで、トレードをする過程で気付いた事や、迷いなどの要素を言語化し

もう一度過去のチャートで『傾向の分析』を行って、疑問点を潰す。

このように、過去検証とフォワードテストを行き来する作業を繰り返し行う事で『型』の精度が向上し

最終的に自分にとっての『信頼するルール』に進化させるわけです。

過去の分析を行う事と、今のチャートでトレードした結果から学ぶ事というのは

それぞれに異なる目的があり、それらは相補的な関係にあります。

過去の結果を目的もなくただダラダラ見ているだけでもダメだし

過去を無視してやみくもにトレードの結果だけを積み上げても、それでは勝てるようにはなりません。

それぞれの意義・目的をよく自分の中で消化し、目的に合った情報をバランスよく取ることも意識する必要があります。